

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					利用児童数		回収数	
こばんはうすさくら 浜松丸塚東教室		2026.02.20					18		12	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3	0	0	スペースは十分で安心できますが、活動によっては少し手狭なこともあります		活動ごとに使用エリアを区分し、人数に応じた配置調整を徹底します	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	0	0	職員配置は手厚く安心できますが、先生が少ないときもあります		利用状況を週次で確認し、少ないと感じる日が出ないように調整します	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2	0	1	分かりやすい環境だと感じますが、室内を見ておらず分からない場合もあります		室内写真や掲示内容を通信で紹介し、環境の見える化を行います	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	0	1	清潔で心地よいと感じますが、室内を見ておらず分からない場合もあります		清掃手順を定期点検し、保護者にも衛生管理を説明します	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0	子どもの状態に合わせた対応ができており、適切な支援が受けられています		個別ケース会議を月1回実施し、特性理解の共有を深めます	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1	0	1	支援内容は概ね一致していますが、支援プログラムが分からないこともあります		支援プログラムを面談時に資料配布し、要点説明を行います	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0	ニーズを分析した計画が作成され、情報共有もできています		アセスメント内容を面談で確認し、計画への反映を説明します	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	0	必要な支援項目が設定され、具体的な支援内容が記載されています		計画の支援項目を具体例付きで説明し、理解しやすくします	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1	計画に沿った支援が行われていますが、分からない場合もあります		計画の進捗を定期面談で共有し、疑問が残らないようにします	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	1	活動は工夫され多様な経験ができますが、分からない場合もあります		月間活動予定にねらいを明記し、目的を伝えるようにします	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	5	1	交流の機会はあると感じる一方で、あまり無い・分からない場合もあります		地域交流の実施状況を整理し、機会が少ない学年にも広げます	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0	運営規程や支援内容は丁寧に説明され安心できます		利用開始時の説明内容を確認し、書面での再周知を行います	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0	計画書を示しながら分かりやすく支援内容の説明が行われています		計画説明時に具体例を交えて説明し、理解を深めます	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	0	1	家族向けの機会がありますが、参加できない・少ないと感じることもあります		家族向け企画の日程を複数設定し、参加しやすくします	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12	0	0	0	日頃から状況を伝え合い共通理解ができています		送迎時の共有に加え、記録での情報共有も強化します	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	1	定期的な面談や助言があり、悩みへの対応も行われています		面談の定期案内を行い、必要時は随時相談に応じます	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0	共感的で寄り添った支援が行われています		職員研修で傾聴力を高め、より丁寧な関わりを行います	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	1	1	交流の機会がありますが、少ない・分からないと感じる場合もあります		保護者交流の機会を年数回設定し、参加しやすくします	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	0	相談には迅速かつ丁寧に対応され、心強い存在です		相談窓口を明確に示し、迅速な対応体制を維持します	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	1	意思疎通や情報伝達への配慮がなされています		連絡手段を複数提示し、情報伝達の確実性を高めます	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	0	0	通信やSNS等で情報発信が行われていますが、分からない場合もあります		SNS以外の媒体でも発信し、情報が届く方法を増やします	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0	個人情報の取扱いは十分に留意されています	個人情報管理手順を定期確認し、職員間で再共有します
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	2	マニュアル策定と訓練は行われていますが、内容が分からない場合もあります	各種マニュアルの内容を説明会で案内し、周知を強化します
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	0	非常災害に備えた訓練が定期的に行われています	避難訓練の実施内容を通信で報告し、取組を見える化します
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	安全確保の取組が行われ安心して支援が受けられています	安全計画の内容を文書で周知し、具体的に説明します
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	0	事故時は状況説明と連絡が適切に行われています	事故時の連絡基準を明確にし、迅速な共有を徹底します
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	2	0	0	楽しく通所していますが、不安を訴える日や行くのをしぶることもあります	不安を訴える場面に丁寧に対応し、安心感を高めます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	2	0	0	通所を楽しみにしていますが、日によってはしぶることもあります	行事内容を事前に伝え、不安が軽減できるよう配慮します
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	支援に満足し感謝していますが、内部が見えず分からない場合もあります	支援内容を定期的に発信し、見えにくさを減らします

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026.02.20				
こぼんはうすくら 浜松丸塚東教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動内容に応じて配置を工夫し安心して過ごせる空間を整えています	子どもの成長や人数に応じてより過ごしやすい環境づくりを進めていきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	2	子どもの状況に合わせて役割分担を行い安定した支援体制を整えています	支援が重なる場面でも落ち着いて関われる体制づくりをさらに進めていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	視覚的に分かりやすい表示を心がけ安心できる環境を整えています	子どもの特性に合わせた環境構成を継続的に見直していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	日々の清掃と消毒を徹底し清潔で心地よい環境を保っています	清掃手順の確認を重ねながらより安心できる環境を維持していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	必要に応じて個別空間を確保し落ち着いて過ごせるよう配慮しています	一人ひとりの状況に応じた空間づくりをさらに工夫していきます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	目標の振り返りを行い職員間で共有しながら改善に取り組んでいます	振り返りの質を高めながら支援の向上につなげていきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者の声を丁寧に受け止め日々の支援に反映しています	いただいた意見をより具体的な改善へ結び付けていきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	職員同士で意見交換を行い運営や支援に活かしています	提案が実行につながる仕組みづくりをさらに整えていきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	外部からの助言を参考にしながら支援の質向上に努めています	第三者の視点を継続的に取り入れ改善を重ねていきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部研修へ参加し学びを職員間で共有しています	研修内容を現場実践へより確実に結び付けていきます
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	支援内容が伝わるよう分かりやすい説明を心がけています	発信方法を見直しながらより理解しやすい情報提供を進めていきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	面談や観察を通して個性を踏まえた計画を作成しています	本人や保護者の思いをより丁寧に反映できる計画づくりを進めていきます
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	職員間で情報を共有し共通理解のもと計画を立てています	支援の意図をさらに共有し連携の質を高めていきます
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	支援計画を職員間で共有し日々の支援に活かしています	計画内容が実践に確実に反映されるよう確認を重ねていきます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	日々の観察と記録を通して状況把握に努めています	記録の質を高めながらより的確な支援につなげていきます
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインを確認し支援内容に反映しています	定期的に内容を振り返りながら実践との整合を図っていきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	職員同士で話し合いながら活動内容を企画しています	活動のねらいを明確にしより充実した内容へ高めていきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	月間計画をもとに多様な体験を取り入れています	子どもの成長に合わせ活動の幅をさらに広げていきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別支援と集団活動を組み合わせ実施しています	状況に応じた関わり方をさらに工夫していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	支援前に役割や留意点を確認し見通しを整えています	小さな変化にも気づける共有体制をより強化していきます

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼で具体的な事例を共有し次回の支援改善につなげています	振り返り内容をより具体化し支援方法の精度を高めています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援記録を丁寧に作成し職員間で共有しながら検証を行っています	記録の分析視点を深め改善策をより明確にしています
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2	定期的に状況確認を行い個別計画の見直しを実施しています	変化の背景まで丁寧に捉え柔軟な計画修正を進めています
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	2	基本活動の視点を意識しバランスの取れた支援を行っています	社会参加や自立の視点をさらに取り入れ活動を充実させていきます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	2	本人の意思を尊重し選択の機会を意図的に設けています	自己決定の場面をさらに増やし主体性を育んでいきます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	関係機関会議に参加し支援方針の共有を図っています	共有した内容をより具体的に日々の支援へ反映していきます
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	医療福祉機関と連携し情報を共有しながら支援を行っています	連携内容を整理し一貫性のある支援体制を強化していきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	学校との連絡調整を行い支援状況の共有を図っています	情報交換の頻度を見直し連携の質をさらに高めています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	就学前施設と丁寧に情報共有し移行支援に活かしています	移行時の不安軽減につながる具体的な連携を強化していきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	関係先へ支援情報を提供し円滑な移行を支えています	将来を見据えた継続支援の視点をより明確にしています
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	必要に応じて児童発達支援センターと連携し専門的助言を具体的な支援に活かしています	助言内容をより継続的に共有し支援方法の精度向上につなげていきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	地域との関わりを意識し外出や交流活動を計画的に取り入れています	地域との接点をさらに広げ社会参加の経験を豊かにしていきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	地域協議会へ参加し最新の情報を収集し職員間で共有しています	地域課題の理解を深めながら運営改善へ具体的に活かしていきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	日々の様子を具体的に伝え家庭との信頼関係を大切にしています	対話の機会を増やし双方向の理解をより深めていきます
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家族支援に関する情報提供や相談対応を継続的に行っています	ご家族の不安軽減につながる支援体制をさらに整えていきます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	4	1	契約時に運営規程の内容を具体例を交え丁寧に説明しています	説明内容の分かりやすさを見直し理解の向上に努めています
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	本人や家族の意向を定期的に確認し支援内容へ反映しています	意向確認の方法を工夫し思いをより正確にくみ取っていきます
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1	支援計画の目的や内容を丁寧に説明し同意を得て実施しています	説明の仕方を工夫し納得感の高い合意形成を目指していきます
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談内容を丁寧に受け止め必要に応じて関係機関と連携しています	安心して相談できる環境づくりを継続して強化していきます
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	保護者同士のつながりを意識した情報提供を行っています	参加しやすい機会づくりを工夫し交流の幅を広げていきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	いただいたご意見を真摯に受け止め職員間で共有し改善につなげる体制を整えています	ご意見の受付から対応までの流れを整理し迅速に改善へ反映できるよう見直していきます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	活動の様子や子どもの成長を具体的に伝え安心感につながる発信を心がけています	掲載内容の分かりやすさを高めるため伝え方を工夫し必要な情報が届くよう改善します
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	個人情報の重要性を職員間で共有し取扱い手順を確認しながら慎重に管理しています	保管や持ち出しの確認を定期化しヒヤリ事例も共有しながら管理の精度を高めています

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	子どもの特性に応じた伝達方法を選び安心して思いを伝えられる関わりを行っています	伝達手段の選択肢を増やし場面に応じた関わりができるよう職員の共通理解を深めます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	地域との関係を大切にし信頼を積み重ねながら開かれた運営を意識しています	地域との連携内容を整理し参加しやすい関わり方を工夫しながら交流機会を広げていきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	マニュアルを整備するだけでなく実践の中で活用しながら内容を共有しています	実態に合っているか定期的に点検し誰が見ても分かる表現へ整えながら更新を続けていきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	避難訓練を通して役割や動きを確認し職員全体で安全意識を高めています	想定幅を広げた訓練を取り入れ緊急時に迷わず動けるよう手順の精度を上げていきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	服薬状況を丁寧に確認し情報を共有しながら安全な支援を心がけています	確認のタイミングと記録方法を統一し引継ぎ漏れが起きにくい仕組みを整えていきます
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	アレルギー情報を具体的に把握し誤食防止の視点で支援を行っています	確認手順を明確にし職員間の声かけや表示方法も含め安全管理の精度を高めていきます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	日々の安全確認を徹底し小さな気づきを共有しながら事故防止に努めています	危険の芽を早期に共有できるよう振り返りの機会を整え予防の視点をさらに強めていきます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	安全計画の内容を分かりやすく説明しご家族の理解を得るよう努めています	説明の機会や資料を見直し不安が残らないよう確認しながら丁寧な周知を進めていきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハット事例を振り返り職員間で共有し再発防止に活かしています	事例の背景まで整理し具体的な予防策として定着するよう振り返り方法を改善していきます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	虐待防止研修を通して人権意識を高め日々の支援に活かしています	研修内容を日常の関わりに落とし込み迷いが生じた際に相談できる体制を整えていきます
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	組織的な協議を重ね子どもの尊厳を守る視点から慎重に判断しています	判断の根拠や代替手段を整理し職員間で共有しながらより適切な対応を継続していきます